

50万円得する裏ワザ111 スマホからアイドルまで大胆予測

個人生活を刺激する流行情報誌

日経トレンドイ

TRENDY

FEBRUARY 2011 2

半年で50万円

定期預金、マイル・ポイント、ケータイ料金、
出張・旅行…すべて見直せ!

得する裏ワザ 総まくり

ドコモ新サービス開始

無線高速データ通信

全国バトル!

一番うまいコメはどれだ

別冊付録
BAR GUIDE

いつ どこで 何が ブレイクする?

2011年ヒット完全予想図

定価 550円
日経BP社



ギャルド ユウ・エス・ピイ 執行役員兼デザイン事業部ジェネラルマネージャー

梶原 章氏

かじわら・あきら 1969年生まれ。96年、ギャルド ユウ・エス・ピイに入社。三越やアトレ、H&Mの店舗など、さまざまな業態の環境設計を手がけ、2011年開業の博多阪急、2012年増床の阪急百貨店梅田本店では基本計画を担当。海外の商業施設のディレクションも行う



1 2 梶原氏が基本計画などに携わり、2011年3月に開業する百貨店「博多阪急」のイメージ。デジタルサイネージへの取り組みとして、1階エントランス横に「ビッグマルチビジョン」、1階ウェルカムホール正面に500型相当の「ウェルカムビジョン」を設置。ファッショングループ内イベントなどの映像を流す予定だ。3 4 2010年9月に増床した三越銀座店、自主編集売り場などの空間づくりも提案

デジタルサイネージとアートが空間づくりの要 新たな機能を盛り込み、進化する「駅」に注目

2011年の商業施設を読む!

これまで、高級ブランドの路面店や百貨店、ファストファッションなど、幅広い業態の店舗デザインに携わり、2010年には9月に増床オープニングした三越銀座店で、本館3～5階やM5階婦人フロア、新館地下1～2階のアクセサリー売り場やカフェなどの環境設計や空間デザインに関った。

さまざまな業態の商業施設を手がける観点から次の潮流を見ると、今後、重要な2つの要素があると思う。一つが、テクノロジーとサービスの融合だ。今後は百貨店などの上質な空間のなかでも、デジタルサイネージをうまく取り入れてサービスをワンランク

向上させるケースが出てくると思う。

香港などの商業施設ではすでに導入が進んでいるが、日本はこれからだ。

例えば、百貨店の受付にあるフロアマップをiPhoneのようにタッチパネルにして自由に目的の売り場を探せるというのも面白いし、売り場の一部に大型セニターを設け、そのとき施設で行っているイベントを映し出すのも手。より便利に情報提供ができるサービスが求められてくるだろう。

もう一つ、空間づくりで大切になるのがアート。といっても、単に「売り物」の芸術作品を並べるわけではなく、空间、デザインのなかにアートを取り入

れていく取り組みだ。訪れた人に「何となくいい場所だな」「これは面白いな」と思ってもらえることが、ホスピタリティにつながると思う。実際に三越銀座店では通路の要所に、銀座に連するアートを飾った。

長年、商業施設の空間デザインを手がけてきて最近特に感じるのは、消費者の目が明らかに肥えてきたということ。たとえあまり高くはない商品を扱う店舗でも、空間デザインはワンランク、ワンランク上のものをつくらないと、消費者はすぐに飽きてしまう。きっと、上質な空間で買い物を楽しめた

いと思う人が増えているのだろう。

旅行でも新幹線の旅に脚光

大阪 「OSAKA STATION CITY」の完成で百貨店競争が激化

5月、JR大阪駅に巨大商業施設「OSAKA STATION CITY」が完成する。この影響で最も変化しそうなのは百貨店。駅南側の大丸梅田店が増床し、駅北側には初の三越伊勢丹ブランド「JR大阪三越伊勢丹」も開業。2012年には阪急百貨店が大幅増床する予定で、競争激化は必至。個性を打ち出すための面白い提案が増える。

●大丸梅田店

春には売り場面積が約1.6倍に拡大する大規模増床が完了。既存の大丸利用者に加え、若者向け売り場「うふふガールズ」を導入するほか、小さな子供を持つ世代や男性にも響くフロアを打ち出す計画だ。



①日本一の広さの「ポケモンセンター オーサカ」や西日本最大級のトミカショップも入る専門店売り場では自分用に買える値頃感のある洋菓子も販売

JR大阪駅

南側と北側のビルをつなぐ駅部分は天井を巨大なドームが覆う。このドームの下に駅をまたぐように巨大な「時空の広場」(下)ができる



JR大阪三越伊勢丹、LUCUA

駅北側には28階建てのビルが建設され、ここに専門店「LUCUA」やJR大阪三越伊勢丹、シネコンなどが入る。三越伊勢丹は自主品牌集売り場を強化し、独自性を打ち出す



上左 LUCUA10階の飲食店フロアは三越伊勢丹の飲食フロアともつながり、西日本最大規模になる上右北側のビルの建設も進む

博多

博多駅に完成するのは九州最大の駅ビル「JR博多シティ」

九州新幹線の全線開通より数日早い3月3日、JR博多駅に九州最大の駅ビル「JR博多シティ」が開業する。シネコン、東急ハンズがあり、約230の専門店が集まる「アミュプラザ博多」、百貨店「博多阪急」などは観光の目玉にもなりそうだ。



東急ハンズ

アミュプラザ博多内の1～5階に東急ハンズ博多店が入る。九州初出店で、売り場面積は約5000m²と広い。集客の要となりそうだ

アミュプラザ博多

人気服飾店や雑貨店や日本最大規模の飲食店街(下右)が入る大型商業施設(下中)がアミュプラザ博多。この他、JR博多シティの屋上には、広場「つばめの杜」(下左)もできる



博多阪急

JR博多シティの核テナントとして入る百貨店「博多阪急」。「暮らしの学校」というコンセプトの下、店内では約20カ所で体験型イベントなどを展開する予定で、新しい提案が数多い

旅行・レジャーでも2011年に力がかかるのは「鉄道」だ。2010年12月に東北新幹線は新青森駅まで延伸したが、本格ブレイクするのが2011年春になるからだ。3月にはE5系「やぶさ」が導入され、これに新幹線初のファーストクラス「グランクラス」が入る。運行本数は1日3往復、1本でわずか18席と希少価値は高い。そのためグランクラスで新青森まで訪れる、函館に足を延ばして豪華寝台特急「カシオペア」で帰るような贅沢な鉄道旅行が、プラチナチケットとして年配層を中心の人気を集めそうだ。

同じく3月には、山陽・九州新幹線の「みづほ」「さくら」が新大阪～鹿児島中央で運行を開始。JR九州は同時に新たな観光列車「指宿のたまて箱」(鹿児島中央～指宿間)や「あそばい！」(熊本～宮地間)を走らせる。これらを組み合わせ、南九州を鉄道で巡るツアーは「親子や3世代家族など、幅広い層を取り込める」(日本旅行)。関東以北の消費者は東北新幹線で青森や函館へ、関西以西では山陽・九州新幹線で南九州を訪れるというよう、2011年は住む場所によって、旅先が明確に分かれそうだ。

旅行・レジャーでも2011年に力がかかるといいう噂がある他、秋に三重の「三井アウトレットパーク倉敷」が岡山に開業する。当面、アーティストブームは続こうだ。

